



EU離脱秒読みー「出て行く」英国メディアはどう伝えているか？



EUとの間で合意した離脱案が、1月15日に大差で英議会から否決されたテリーザ・メアリー・メイ英首相。翌週21日には議会で代替案を表明したが、具体性に乏しかったとされる。

同日の国内の新聞には、朝刊紙メトロの「グラウンドホッグ（groundhog=リス科マーモットの小動物）首相メイ」、タイムズ紙の「12名の大臣辞職の可能性」など、首相への揶揄や風当たりの強さを打ち出す見出しが並んだ。

2019年3月29日のEU離脱を控え、影響が及び始めている国民生活の現状、及び、いまだ不透明な先行きについて英国メディアはどう報じているか整理した。

ポンド安による値上げや物流の混乱を懸念する英メディア

■ポンド下落がもたらす実質値上げ英国の国家統計局（ONS）によれば、EU離脱の国民投票をきっかけとして、2015年9月から2017年6月までの間に、計206品目の商品で実質値上げ、すなわち価格据え置きでの少容量化（shrinkflation）が行われた。

この理由として、英ガーディアン（1月21日）は、ポンド下落が輸入原料の高騰を招いたものと分析している。チョコレートブランドのマース（Mars）が従来の容量の15%削減を行ったのをはじめ、影響はトイレットペーパーや液体洗剤、食料品にまで広がり、国民生活への影響が懸念されている。

■倉庫の駆け込み需要ガーディアンは、1月22日、英国倉庫協会（UKWA）の調べに基づき、EUからの合意なき離脱後に生じる輸送遅延に備え、主要都市で貯蔵スペース不足が生じていることを報じた。

2018年12月の調査によれば、協会の85%がEU離脱関連の問い合わせに追われ、75%は新規顧客からのビジネスに応じることができない状態だという。対象品目は食品の素材からキャットフードに至るまで多岐にわたる。

同記事によれば、たとえば英流通大手のTescoは、通常クリスマス時期にしか用いないコンテナを、今年一杯、冷凍品用にレンタル済みとしている。ほかにも英高級車メーカーのベントレーや英折り畳み自転車大手のブロンプトンから英製薬大手のグラクソ・スミスクライン、キプリングまで、備蓄計画を公表している企業はさまざまな業種に及ぶ。

これに伴い、大手の製薬会社や酒やタバコ、自動車メーカーは既に、貯蔵コストを吸収・転嫁できるよう、製品を値上げしたり長持ちさせたりする計画を打ち出している。一方それが難しいのは、製品の性質上、価格が安く消費期限が短い食品との指摘もなされている。

「合意なき離脱」は英国の物流に壊滅的な打撃を与える（Photo by The European Council on Foreign Relations）

楽観的な議員が「合意なき離脱」を招く懸念も

■英国内産業全体への悪影響フィナンシャルタイムズ（1月14日）によれば、ゴープ英環境相は、40%

の輸出関税が小規模農業者や食品業者を襲うと警告。クラーク英産業相も、英EU間の貿易は世界中で最も「原始的な」条件になるだろうと警鐘を鳴らしている。

合意なき離脱への対策を済ませているのは、医療産業や自動車産業、食品業の大企業に限られていると同紙は述べた。その上で、たとえば投資業界は既に8000億ポンドの資産やスタッフをEUに移したといわれるが、EU離脱期限の2019年3月29日が近づいても出口が見えないなら市場の反応は大きいだろうと指摘する。

加えて、合意なき離脱になれば、たとえば生鮮食品はすぐに底を尽く。また、医療品不足が患者の混乱を生じさせることもありうると懸念を示した。

■フィナンシャルタイムズ曰く「メイ首相の危険なチキンゲーム」合意なき離脱による混乱を避けるため、「長い2年の議論の末にたどり着いた離脱案」を議員たちが支持するしかないメイ首相は主張する。そしてEU離脱の3月末が近づくほど、人々は断崖絶壁から引き下がり、首相案を支持するだろうというのが、同首相の思惑である。

上記記事によれば、彼女の戦略は離脱期限さえ来れば、合意なき離脱であろうが2回目の国民投票であろうが、離脱自体は現実化するとの算段をベースにしている。しかし、離脱主義者は何も怖れるものはないと主張し、明るい未来を描いている。

楽観的な議員の中には、390億ポンドの離脱金を失うことを考えればEUの譲歩を引き出すことは可能であり、時は我々の味方だと語る者もいる。メイ首相のチキンレースはさらに混迷を深めている。

メイ首相はEU離脱の「チキンレース」を無事に乗り切れるか？

<参照記事><https://www.theguardian.com/po...><https://www.bbc.com/news/blogs...><https://www.theguardian.com/bu...>フィナンシャルタイムズ（1月14日）については、ペーパーを参照したため該当URLなしタイトルは、”Parliament will decide tomorrow the fate of Theresa May’s exit plan.”

文：Yuu Yamanaka／編集：M&A Online編集部